

2020年1月28日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

米国の「企業平等指数2020」において最高点を獲得

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二)の100%子会社である Nomura Holding America Inc. (ノムラ・ホールディング・アメリカInc.、以下「NHA」)は、LGBTQ^{※1}に対する適正な取り組みをする企業を評価する米国の人権団体Human Rights Campaign Foundation (ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団、以下「HRC」)のCorporate Equality Index(企業平等指数、以下「CEI」)^{※2}において、最高スコアの100点を獲得しました。

2002年に始まったCEIは、LGBTQに対する職場の公平性を示すベンチマークで、対象企業について以下の3つの項目で評価します。

1. 雇用方針における、性指向・性自認に基づく差別禁止の明示
2. 福利厚生におけるLGBTQへの公平なサポート
3. 多様性を活かす職場の風土醸成や社会的責任への取り組み

LGBTQ当事者が働きやすい職場として、NHAの取り組みはCEIのすべての基準を満たしました。



野村グループでは、「新たな価値を生み出すために、多様性を尊重し、組織や立場を超えて協働する」という企業理念のもと、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。今後も、LGBTQを含めすべての社員が自らの持つ力を最大限発揮し、安心・やりがいを持って働くことができる職場風土を醸成し^{※3}、すべての人が安心して暮らしていくことができる社会の創造に貢献していきます。

※1 レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、およびクィア・クエスチョニングに代表される性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)の略称

※2 詳細については、HRCホームページ(英語のみ)でご確認いただけます。

<https://www.hrc.org/campaigns/corporate-equality-index>

※3 野村のダイバーシティの取り組みは当社ホームページからご確認いただけます。

<https://www.nomuraholdings.com/jp/csr/employee/di.html>